



## トップニュース：ご近所訪問 「富山市」 - 富山ライトレールと富山地鉄 -

わが福井では福井鉄道が車両の大量入れ替えで一気に L R T に近づくため全国から注目を集めていますが、もう一つ全国から注目を集める都市が北陸にあります。それは富山市。先の合併で人口が 4 2 万人余りになった富山市では平成 1 8 年の 4 月末に J R 富山港線が「富山ライトレール」として L R T 化開業します。

富山港線は北陸新幹線の富山着工とそれに伴う北陸本線の高架化に伴い、富山駅高架乗り入れではなく富山駅付近のレールを道路上に移すことを選択しました。これにあたっては道路特定財源が投入され、公共事業として整備がなされることになりました。車両は全車低床 L R V に置き換えられ、富山駅高架開業後はさらに南進し、富山地方鉄道富山市内線と直通運転を行います。その富山市内線も廃止区間の一部復活、南富山で接続する鉄道線の富山地方鉄道上滝線への乗り入れも検討されており、公共交通ネットワークの充実が行われます。これは北陸新幹線が開業した将来、ストロー現象にさらされるばかりではなく、逆に大都市圏の住民に定年後の居住地として富山を選んでもらうために、公共交通ネットワークの充実を図るという政策を選択したことによります。来年の春は福井と富山、2つの都市に L R T が走り始めることになります。(文：清水) <http://www.t-lr.co.jp/>



### 活動報告

- 7 月 23・24 日 交通権学会富山大会参加
- 7 月 26 日 中部路面電車 S・福井市打ち合わせ
- 8 月 2 日 福井鉄道鈴置常務・ROBA 懇談会
- 8 月 5 日 県「L R T 勉強会」参加
- 8 月 6・7 日 全国都市再生まちづくり大会参加
- 8 月 18 日 8 月臨時理事会
- 8 月 19 日 中部路面電車 S・福井市打ち合わせ
- 8 月 26 日 月例会・理事会

### 今後の予定

- 8 月 28 日 (日) 環境パートナーシップ会議参加
- 9 月 12 日 (月) 山梨大学片谷研究室ヒアリング
- 9 月 23 日 (金) 月例会・理事会
- 9 月随時 L R T 部会・MAP 部会
- 9 月随時 中部路面電車 S・福井市打ち合わせ

### ゆうじんの部屋 書籍紹介

道路の経済学 松下文洋

講談社 7 0 0 円 (税別) ISBN 4 - 0 6 - 1 4 9 7 8 2 - 0 C 0 2 3 3

道路の需要予測がどのように行われるのか、どこに恣意性が入るのか。そういった点を、道路建設を行う側でない人がこれだけ理解しているのは、上岡直見さん以外に珍しい。しかし、工事費の話になったとたん、談合等がなければ 1 / 5 ぐらいの工事費で道路ができると思い込んでいるところにはがっかりしてしまう。

また、土地利用と道路の一体的計画についても理想はよくわかるのであるが、現実に行行政をやっている側からすると、提言の実現性が乏しい。ただ、私の持論である、道路利用の課金は社会的費用も含めた限界費用と等しくすべき、道路建設は費用対効果がある範囲ですべきという私の持論を、言葉は違うが訴えているところは好感が持てる。最後の、道路の事業評価は、事業をする側以外がすべきという意見は傾聴に値する。

(美濃部)

<参加者> 事業者：福井県バス協会・福井県タクシー協会・京福バス・福井鉄道・えちぜん鉄道  
経済界：福井商工会議所 学識経験者：福井大学工学部  
行政：中部運輸局福井運輸支局・福井市総合交通課・福井県総合交通課  
NPO法人：ROBA 林博・林照翁

平成14年度に策定した「新世紀ふくい生活交通ビジョン」に基づく施策の全県的な展開を促進するため、「福井県生活交通活性化会議」(メンバーは学識経験者2、利用者代表4、事業者7、中部運輸局1、市町村等32、県1)が発足されています。この会議の中に、今回ROBA2人が参加した「公共交通利便性向上検討会」が設けられました。

第1回は現状把握と課題の整理、第2回(9月)は試行的取組みプランの検討、第3回(11月)に取組みプランの取りまとめを行い、次回の「福井県生活交通活性化会議」へ報告の予定です。

#### 各交通事業者から意見

- ・ 行政がコミュニティバスを運行するようになり、路線バスの乗客が奪われている
- ・ 行政にコミュニティバスの運行ノウハウを提供しても、タクシー会社などに入札で負け、運行事業に参入できない(バス事業者)
- ・ 現状を踏まえると、郊外バスはバス事業者、近距離の循環型バスは行政、ドアからドアはタクシーと、役割分担の時期にきているのではないか
- ・ 鉄道バスの連携、観光客を対象とした「県内電車バスフリーパス券」など考えるとICカードの導入は必然ではないか
- ・ JR特急のダイヤに合わせた、運行ダイヤ計画を行いネットワークを重要視している。バス会社との連携(勝山駅や芦原湯の町駅など)も始めており乗り継ぎの円滑化を計っている。

#### 利用者、学識経験者からの意見

- ・ 高校大学、新社会人の公共交通への利用促進を促すためにもダイヤ改正は3月に行い、4月からの利用につなげるべきでは?(林 博)
  - \* えち鉄、福鉄電車、福鉄バスは可能、京福バスは補助金の関係でむずかしい
- ・ マイカー通勤から公共交通通勤へのシフトをすすめるため、県主導でモデル事業所をつくり、啓蒙促進を行ってほしい。(林 照)
- ・ バスの運転手の接客態度や運転状況のバラツキがあり、平準化が必要。そのためには県は補助を出すだけでなく、乗客の満足度調査を行いサービス向上につなげてほしい(林 照)
- ・ 現状をふまえると、利用者が路線バスからコミュニティバスへ移動しているだけで公共交通利用者の増加にはつながっていない
- ・ 福井駅を中心とした結節促進のため、駅西広場バスターミナルの運用開始を早急に進める必要がある

#### 県からは

- ・ 松岡駅(えち鉄)と福大医学部附属病院、県立短大、周辺団地を結ぶバス運行を松岡町から相談を受けている
- ・ 市町村合併にともない、コミュニティバスの運行が長距離化(1周70分という例も)しており利用者のサービス低下を招いている

県内の公共交通事業者(JRを除く)が一同に参加する会議に出席できたことは、とても有意義な時間でした。また、予定終了の時間を過ぎても討論が続き(ROBA状態)第2回の会議が非常に楽しみです。(林 照翁)

## 交通権学会富山シンポジウムに参加して

去る7月23日(土)に交通権学会主催の富山シンポジウムにパネリストとして参加してきたので報告したい。

シンポジウムは交通権学会富山大会の一環で、23日がシンポジウム「交通権先進地域・北陸からの報告」、24日(日)が交通権学会の一般論題発表・総会という日程で行われた。

初日のシンポジウムでは安部誠治関西大学教授の基調報告「整備新幹線と並行在来線」に続いて、公共交通をよくする富山の会世話人、富山商船高専教諭の岡本勝規さんの発表「北陸新幹線開通と地域交通の課題



先行事例調査を通じて」、明日の金沢の交通を考える市民会議代表、吉田洋さんの発表「バス交通環境の改善から、創造都市・金沢をめざして」、RACDA高岡会長、島正範さんの発表「万葉線とRACDA高岡」、そしてROBAを代表して私、清水の発表「福井における鉄軌道再生とLRT推進の状況」、富山県交通政策研究グループの紺昌弘さんの発表「富山県内並行在来線の経営形態・収支予測及び支援策の提案」があり、その後、以上のメンバーによるパネルディスカッションが展開された。

安部先生の基調報告の中で印象に残ったのは、新幹線開通にあたっての並行在来線の扱いとして県境を境に別会社を作らないことが非常に重要であること、そして、政策策定過程への住民の参画が必要であることの2つであった。各団体発表の中で印象に残ったのは、岡本勝規さんの発表の中で、先行事例としてのしなの鉄道、肥薩おれんじ鉄道、北越急行に関する事業者、従業員、行政、利用者等に対して非常に手間と時間をかけて行われたヒアリング調査の手法とその回答の中身であった。そこには現実の鉄道の悩み・問題点が浮き彫りにされていて、これから並行在来線問題に本格的に取り組むことになる北陸各県へのヒントとして、調査そのものが非常に貴重であったと思われた。黒字を計上していることで有名な北越急行(事業者)の言葉、「地方鉄道で黒字は幻想である。」は特に印象的であった。



パネルディスカッションでは北陸の主だった団体が並んでいること自体感慨深かったが、終盤、各団体が行事の宣伝をした(もちろん中部地区路面電車サミット in 福井も)時に、司会の方が、「それでは北陸各地のいいものを食べながら集えるフォーラムを考えて頂けませんか。それを全国に発信してください。私達も是非参加したい。」と言われたが、そこがパネリスト間で、あるいは会場全体で一番盛り上がった部分であったような気がする。それだけでも収穫であったかもしれない。

翌24日は交通権学会の会員中心の構成。しかしその中でも岡将男さん、上岡直見さん、JR職員による福知山線事故に関する緊急セッションが一番の見どころであった。余談であるが、2日間で富山名物「富山ブラック」というラーメンを2度食べた。「体験」として是非、皆さんにもお勧めしたい。(笑)

参加者:内田桂嗣、林博、林照翁、清水省吾

以上(文:清水省吾)



第1日目の会場は工学院大(新宿)



知恵の交流・屋台村

まちづくり屋台村 11:00~17:00



新宿高層ビル街にある工学院大学のアトリウムに全国からまちづくりグループが大集合。(写真：左) 屋台(パネル展示)を使ってそれぞれの活動を紹介しあい交流が行なわれた。



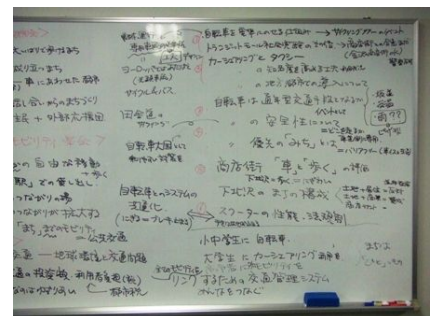
はやしさんと ROBA 東京支部チームが設営した手作りのブースは来場者に好評

ROBA ブース(写真：下)では「バスマップを利用者がつくる活動」を紹介。岡山・広島・松江・福井のバスマップと都市再生調査の報告書「公共交通を活かしたまちづくりのすすめ」をセットにして資料販売し、松江の「全国バスマップサミット」と「中部地区路面電車サミット」を案内した。

知恵の交流会「No7・交通とまちづくり」 13:00~16:00



17人衆の岡さん(RODA)の進行のもと、公共交通・自転車・遊歩・タウンモビリティ・カーシェアリングからまちづくりを行っている6グループが分科会を開催。(写真：左)



それぞれ活動のスタートは違っても目標は同じ「ほじろば優先のまちづくり」だと確認。「まちは人のもの・・・」という宣言をまとめることになった。

懇親会 17:30~20:00

伊藤滋座長の「家協会の貯金を使い果たしても3年ぐらいは続けましょう」という挨拶で開幕。各地の地酒や焼酎の販売、阿波踊りやフラダンスが披露され、関係者500人の盛大な交歓会となった。(写真：神楽坂だむだん連)



懇親会であいさつする伊藤座長 17人衆に畑さんも加わる!?



第2日目の会場は日比谷公会堂

日比谷大会 8/7 12:00~15:20

聖地日比谷公会堂に稚内から石垣まで全国から1500名の“まち人”が集結。「がんばらないけど諦めないまちづくり」をテーマにシンポジウムが行なわれた。どの活動も壁にぶつかり苦労しているようですが、皆さんとっても元気なのが印象的でした。



全まちに小泉首相あらわる 後に控えしは“全まち17人衆”

全まち参加者・・・ROBA ブースにて  
佐々木・内田・高橋・青木  
はやしや・畑・佐藤  
(佐々木奥様)・(また太った寺内)



日比谷大会までの時間を使って都電に乗ってきました。路面電車としては振動も少なく快適な車両には、日曜の9時頃にもかかわらず家族連れや買物カート

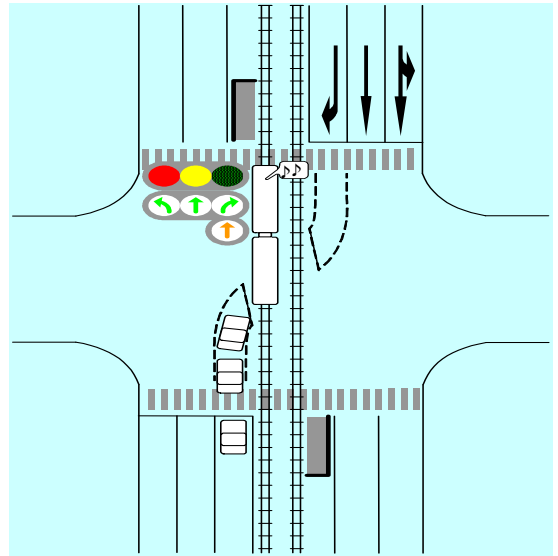


持参の主婦など座れない程の乗客です。

JR や地下鉄との乗換駅で結構入れ替わり、フィーダー路線として短い距離を使うお

客が多いようです。

荒川線はほとんどが専用軌道ですが、併用軌道になったところで偶々降りてみると、なんとそこには以前ROBAが提案した電停拡幅案（右図）がそのまま実現しているではありませんか！



一昨年の福鉄活性化協議会にROBAが提案した交差点改修&電停拡幅案



センターポール・バリアフリー改修されたばかりの宮の前電停。交通局のHPの駅情報では電停の位置が逆(古いまま)になっている。

フェニックス通りはこれより幅が広いので、車線は上下1車線多く歩道の幅も広がりますが、右折車線の先に電停を移し拡幅する考え方は同一ですね。はやしやさんはいつの間にか実測済ませていました。どうやらセンターポール化の際に電停移設と交差点改修（車線変更）を行ったようで、撮影した電停



以前のラインが残る路面。ここから先はセンターポール化されていない

の横のアスファルトには以前の車線のラインが残っていた跡が残っていました。たまたま降りた電停での大発見でしたが、これも5.6分で次の電車がやって来るという安心感と、乗り放題で¥400と格安1日券のおかげ。地下鉄とちがって歩道から乗り場（電停のホーム）がすぐ近くなのも楽ですね。都電は超低床車ではありませんがホームの方が嵩上げされ、屋根とベンチが備えられているところも流石だなあと感じました。



駅100選にも選ばれた終点三ノ輪橋。バラが植えられた通路から直接喫茶店に入れる



変集長が毎朝利用しているバス停です。ROBA認定バス停を満たすには歩道幅と屋根が足りませんが、福井のバス停環境の中では良い方でしょう。平日は、丸岡線（大名町経由）丸岡線（町屋町経由）新田塚医大線の計3本が走っており、福井駅前には、ま

あまあ便利です。（日曜祭日を除けば）

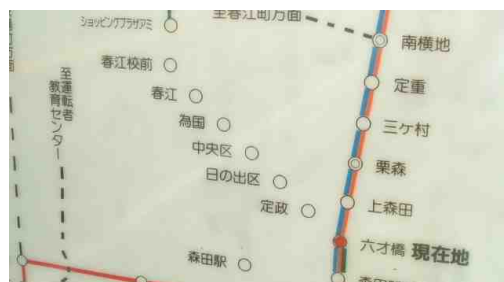
バス停の横に路線図の紹介がありますが、2000年（H12）9月30日に廃線となった春江線のバス停が消失せずに紹介されています。将来、復活があるのか、淡い期待を抱かせる野暮な表記です。

六才橋 上り  
（福井市上森田一丁目）

土・日・祝日時刻表 (17/2-1/28)	
07	07
08	08
09	09
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15
16	16
17	17
18	18
19	19
20	20
21	21
22	22
23	23
24	24
25	25
26	26
27	27
28	28
29	29
30	30
31	31

平日(月～金)時刻表	
07	07
08	08
09	09
10	10
11	11
12	12
13	13
14	14
15	15
16	16
17	17
18	18
19	19
20	20
21	21
22	22
23	23
24	24
25	25
26	26
27	27
28	28
29	29
30	30
31	31



作 / 漆崎 耕次

**編集後記・・・編集委員より一言**

林(変集長)

「刺客と呼ばれる対立候補、見ものではありませんが・・・」

清水(副編集長)

「北陸の他の都市の様子も紹介していきます」

内田(発行責任者)

「福井県の公共交通対策はしばしだんまりですが、良いプランが出ると・・・期待しています」

**事務局** 特定非営利活動法人

**ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)**

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: [roba@mbh.nifty.com](mailto:roba@mbh.nifty.com)

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>